

TAS PROGRAM INTERVIEW

TASプログラム インタビュー

税務および会計に関する高度専門職業人の養成を目的とし、税理士や企業の税務・財務部門での活躍を目指す学生を対象とするTASプログラム。

現在、税理士を目指して研究に取り組む和田瑠璃子さんに、研究テーマや学ぶ意義、関西大学大学院商学研究科の魅力、関西大学大学院商学研究科進学を目指す後輩へのメッセージなどについて聞きました。



関西大学大学院商学研究科博士課程
前期課程1回
和田 瑠璃子 さん



関西大学商学部
辻 美枝 教授

大学院に進学した理由

辻教授：はじめに、大学院に進学した理由を聞かせてください。

和田さん：税理士試験を受験し1点足りず不合格という結果になったことがきっかけです。その経験からより多角的に税について学びたいと考え、大学院への進学を決めました。

関西大学大学院商学研究科を選んだ理由

辻教授：多くの大学院がある中で、関西大学大学院商学研究科を選んだ理由は？

和田さん：他大学の商学部を卒業していたため、商学研究科の中から、税理士試験の科目免除に向けて税法の研究が行える大学院を探していました。その際、関西大学大学院商学研究科で2022年4月からTASプログラムが開始されることを知り、しっかりとした学習環境に魅力を感じて進学を希望しました。

研究テーマと概要

辻教授：大学院での研究テーマとその概要について教えてください。

和田さん：主な研究テーマは「家族と税制」です。家族の在り方がますます多様化していくことが考えられるこれからの社会において、よりよい税制とは何かという観点から、親しい関係にある個人間での財・サービスの移転を中心に研究を進めています。



研究を進めるなかで楽しいことと苦しいこと

辻教授：関西大学大学院で研究を進めるなかで、どんなことに楽しさを感じますか？

和田さん：自習段階で書籍や論文を読んだだけでは理解しきれなかった内容が、授業で先生方にご示唆やご指摘をいただき、しっかり理解できたときに楽しさを覚えます。また大学院では人前で発表をする機会が多く、調査・資料作成・発表までの過程に労力を必要としますが、その分一乗り越えるごとに自分の成長を感じられて充実感を覚えます。

辻教授：逆に、大変なことについても教えてください。



和田さん：たとえば税法の授業では、発表資料の作成にあたって、判例や先行研究など数多くの文献・資料にあたる必要があるのですが、そこから得た知識・情報を、自分一人の力で整理してまとめる作業にとっても苦労します。その中で大切にしていることは、中身を伴っていないと取りあえず作ってみることです。文献の意味がわかっていなくても最後まで目を通し、何とか形にする。発表までたどり着けば、作り上げた資料に対し、周囲の方々からフィードバックをいただけます。そのことによって自分にはない観点が見えてくること多いです。これらの経験は、今後の人生において役立つものだと思いますし、社会に役立つ力を身につけることができる環境で学んでいると感じています。

関西大学大学院商学研究科で学ぶ魅力

辻教授：関西大学商学研究科のどんなところに魅力を感じますか？

和田さん：最大の魅力は学習環境が整っている



点です。授業は穏やかな雰囲気の中で先生方の豊富な知見に触れ、自分の理解を深めることができます。また租税法はもちろん商学分野から幅広く授業を選択でき、他分野の先生方からも良い影響を受け自分の視野を広げることができます。充実した資料を揃えた図書館も本学の大きな魅力ですし、自然豊かな心落ち着くキャンパスで四季折々の景色に癒されながら学べる点も、関西大学大学院ならではの点だと思います。

大学院進学のための受験対策や準備

辻教授：大学院受験にあたり、どんな準備をしたか教えてください。

和田さん：参考図書に挙げられていた租税法の書籍をはじめ、修士論文の書き方に関する書籍などに目を通しました。内容が難解で理解できなかった部分もあったので、今思えばもっと導入的な書籍も参考にすればスムーズに学習を進めることができたと思います。

TASプログラムに進学を考える後輩へのメッセージ

辻教授：最後に、TASプログラムに進学を考えている方へのメッセージをお願いします。

和田さん：租税法は難解な分野ですが、関西大学大学院商学研究科には丁寧に指導くださる、素晴らしい先生方がいらっしゃいます。自分の意欲次第でどんどん学んでいける環境も整っていますので、少しでも興味がある方はぜひ挑戦してください。一緒に学ぶ仲間が増えることを楽しみにしています。